令和４年度　桃井第五小学校　校内研究計画

１　研究主題

研究主題　　「たくましく関わる力を育てる指導法の工夫」
～対話的学びを通して～

・研究授業は国語に限らずどの教科・領域の授業で行ってもよいこととする。
・対話的な学びを通して、主体的に多くの他者と関わることができる児童、また、その力を使って学びを深めることのできる児童を育成する。
・各学年で児童に身に付けさせたい「たくましく関わる力」は以下の内容とする。

たくましく関わる力	自分の考えを伝える力	他者の考えを尊重する力	よりよい考えを探る力・協力して問題解決する力
低学年	自分の考えを、言葉にして伝える力	相手の考えを最後まで聞く力	友達と意見を出し合い、よりよい考えを選び出す力
中学年	自分の考えを、相手を意識して伝える力	相手の考えを聞き、共通点や相違点に着目して、理解する力	友達と意見を出し合い、よりよい考えを見いだす力
高学年	自分の考えを、相手に理解してもらえるように伝える力	相手の立場や意図を受け止め、考えを尊重する力	友達と話し合い、よりより考えや新たな考えを見いだす力

２　研究組織・方法

・低中高の３分科会、専科は３つの分科会に分かれる。
・分科会提案を考える際や授業前など、要所要所分科会で話し合うようにするが、その他、指導案検討や教材研究等は、学年団と専科で行ってもよい。
・授業は各学年１本、年６回とする。

３　協議会

・場所　体育館（コロナ感染対策は次年度も続くと思われるため）
・方法　グループ協議→全体協議
・時程　水曜時程　（以下の流れを基本とする。）
　①研究授業　　１３：３０～１４：２５
　②校長挨拶・分科会提案・自評　　１４：２５～１４：３５
　③グループ協議　１４：３５～１５：
　④全体協議　　１５：００～１５：１５
　⑤指導講評　　１５：１５～１５：５０
・短冊の内容
「よかった」「もう少し・こうしたら」「質問」

４　スキル表

・学校としてのスキル表（桃五小対話スキル）をもとに、年度当初に各学年が実態に合わせて、内容の取捨選択や文言の変更、順番の入れ替えなどを行い、学年用のものを作成する。

※スキル表はゴールではなく、指針とする。また、学校全体のスキル表は子供に配布したり掲示したりするものではなく教師側が活用するためのものとし、児童用のスキル表をつくる場合は各学年のものを使うか、それをもとに作成する。

５　対話の時間

・毎月、朝の１５分間×２回を対話スキルを身に付けるための時間とする。

・対話の時間は固定。学校全体でその日の朝は１５分間「対話の時間」を行う。

・内容は各学年が自分たちの学年のスキル表をもとに考える。

６　主な日程

４月　２０日（水）校内研究全体会　講師紹介　今年度の研究について共有・児童の実態について
授業日程希望調査

５月　１８日（水）研究分科会　スキル表の作成・授業教科領域・内容について検討

６月　３０日（木）研究授業①
９月　２１日（水）研究授業②
９月　２８日（水）研究授業③
１０月１９日（水）研究授業④
１０月２６日（水）研究授業⑤
１１月３０日（水）研究授業⑥

研究授業講師
大妻大学教授
矢野　博之　先生

・１１月３０日～１２月１３日までの間に、他の学校評価とは別に、研究アンケートを実施。

１月　１８日（水）校内研究全体会　次年度について提案
１月　２５日（水）三部会　次年度について再検討
２月　　１日（水）職員会議　次年度について最終提案